

# 新任職員の紹介

前回の会報にてお知らせしていましたが、商工会事務局長であった鈴木さんの退職に伴い平成21年4月1日より雫石町農林課の課長であった新里千秋さんが着任しました。

また、しずくいし特産品の販路拡大事業に係る職員の採用により、商工会に新たに職員として3名の方が採用されましたのでご紹介します。



この度、雫石商工会に赴任することとなりました新里千秋にいさとちあきと申します。

50年の伝統ある雫石商工会の事務局長として拝命され身に余る光栄を感じながら、大きな不安も持っております。これまでは、役場に35年9ヶ月間お世話になりました。この間、農業委員会（9年）総務課（13年）議会事務局（5年）農林課（7年）等に在職いたしました。商工業関係は全く未知なる職域であります。

今、経済情勢、雇用情勢を取り巻く環境は厳しいものがありますが、このような時にあつては商工会の果たす役割はより一層求められているものと思っております。商工会の本来業務である経営改善普及事業及び地域総合振興事業はもちろん重点事業であります中心市街地活性化事業（TMO）、物産振興対策事業等の推進に事務局職員が一体となって取組み、会員の皆様方の少しでもお役に立ち、まちの活性化に繋がるよう頑張っておりますのでよろしくご指導、ご協力をお願いいたします。



この度、雫石商工会に縁がありお世話になることとなりました久保一久くぼかずひさと申します。

早速ですが自己紹介をさせていただきます。住まいは、盛岡市名須川町で仁王小学校の側です。趣味は、麻雀とゴルフで年間20ラウンド程プレーしています。実力は95ストローク。年齢は60歳で多少太り気味。特徴は何事にも前向きで元気者。前職は岩手県の第3セクターの岩手県産(株)に35年間勤務しました。この間、名古屋営業所9年間、大阪営業所に5年間勤務。業務的には岩手県の特産品振興に係る岩手県の物産と観光展の企画及び運営、特産品の発掘、特産品の流通に関する営業を行ってきました。

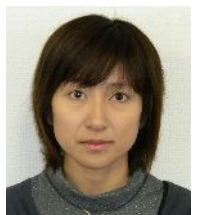
今後は、前職のノウハウを活用し雫石町の特産品の開発及び製造を雫石町の方々と一緒につくりあげていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。



初めまして。横手梓よこてあずさと言います。

この度物産振興および、町おこしの営業事務担当として、勤務させて頂くこととなりました。小、中学と地元雫石で学び、高校は盛岡南高等学校に通いました。高校卒業後には神奈川県の湘北短期大学にてパソコン関係の勉強をして、雫石に戻ってきました。地元での就職先はなく大学卒業後は盛岡にて3年間事務職を勤め、昨年は役場の臨時職員として働いていました。

今まで、営業職の経験はなく、至らないこともあるかと思いますが、雫石町の発展に携わっていき、ぜひ名前を覚えていただけるよう、精一杯がんばりますのでよろしくをお願いいたします。



4月からお世話になることになりました。中村千里なかむらちさとです。

生まれは尾去沢鉱山などで有名な秋田県鹿角市尾去沢です。まわりには八幡平市、十和田国立公園があり、秋には紅葉、冬にはスキー客などの観光客で賑わいます。自然やスキーの出来る環境など雫石と似ていると思います。

高校卒業後に雫石に就職し、そのまま永久就職となりました。子供が生まれてからは地区の行事や学校PTA、子供のクラブ活動などたくさんの人たちと触れあう機会に恵まれ、色々なことを勉強させて頂いています。人とかかわりの中で私がいつも感じていることは、人の話を聞くことで気づかされることごと多いということです。このお仕事も人と人の繋がりが一番だと思います。これから、色々教えて頂くことが多いと思いますが、何事も一所懸命頑張りますのでよろしくお願ひします。